

2026 年（令和 8 年）度

学 生 募 集 要 項

言 語 文 化 学 部

国 際 社 会 学 部

国 際 日 本 学 部

【帰国生等特別推薦選抜】



東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

出願期間

2025 年（令和 7 年）11 月 1 日（土）～11 月 5 日（水）

目 次

東京外国語大学（学士課程）のアドミッションポリシー	1
I. 趣旨	2
II. 募集人員	2
III. 推薦人数	3
IV. 出願資格等	4
V. 出願期間	5
VI. 出願手続	6
VII. 受験票	9
VIII. 選抜方法	9
IX. 合格者発表	10
X. 入学手続等	10
XI. 障害等のある志願者の事前相談について	11
XII. 個人情報の利用について	12
XIII. 出願書類記入上の注意	13
＜コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法＞	14

○ 東京外国語大学（学士課程）のアドミッションポリシー

① 教育の理念

東京外国語大学の理念は、世界の言語と、それを基底とする文化・社会に関する教育を実施し、豊かな人間性、深い思考力、鋭利な感性を養い、高度なコミュニケーション能力、豊かな教養、広い視野を身に付け、さまざまな文化的背景をもつ世界諸地域の人々と協働して地球的課題に取り組むことができる人材を養成することです。

② 求める学生像

東京外国語大学では、世界諸地域の言語・文化・社会の仕組みを解明する諸学問分野や、国際的な諸問題を超越的な視点から扱う諸学問分野の基礎を学ぶことができます。

国内外の高等学校等において、総合的で確かな基礎学力、ものごとに対する思考力・判断力・表現力、そして主体的に学ぶ態度を身に付けたうえで、本学の理念に共感し、さまざまな文化的背景をもつ人々と共に働き、地球的な課題に取り組む意欲にあふれる人を受け入れます。

【言語文化学部】

世界のさまざまな地域の言語と文化に精通し、国内外において異なる言語間・文化間の架け橋となって活躍する国際教養人をを目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ○出版、広告、観光などに関わる職業 | ○文化事業の企画に関わる職業 |
| ○新聞社、放送局などのマスメディア | ○国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど） |
| ○通訳・翻訳に関わる職業 | ○英語など外国語教育に関わる職業 |
| ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 | |

【国際社会学部】

世界の国や地域の歴史・政治・経済・社会に関心をもち、多様なビジネスの分野はもちろん、国際社会と協働して現代世界が抱える紛争・災害、環境問題、経済格差・貧困等の問題解決に携わることによって、人間社会に貢献する国際職業人をを目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| ○外交官などの国家公務員、及び地方公務員 | ○国際的に展開する企業（金融、商社、メーカーなど） |
| ○国際機関や国際的に活動する NGO | ○新聞社、放送局などのマスメディア |
| ○社会科・地理歴史科の中学・高校教員 | ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 |

【国際日本学部】

国際的視点から日本を学び、日本発のグローバルリーダーとなることを目指す人、また、多言語・多文化化の進む日本や世界で共生社会実現に貢献することを目指す人を歓迎します。

卒業後の進路としては、次のような目標が考えられます。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| ○グローバル企業、海外展開をする日本企業 | ○地方自治体、中央官庁、国際機関等 |
| ○通訳や翻訳の仕事 | ○観光や運輸関係の企業 |
| ○出版・メディア関係の企業 | |
| ○大学院に進学し、研究・調査の仕事 | ○国語科の中学・高校教員 |
| ○日本語教育・日本文化に関わる国内外の教育・研究機関 | |

③ 選抜方法の方針（帰国生等特別推薦選抜）

- ・言語文化学部、国際社会学部、国際日本学部で実施します。
- ・キャンパスの一層の多様化を図るため、日本の制度とは異なる教育制度のもとで中等教育を修了した生徒の受入れを目的に、本選抜を実施します。本学の特色・専門分野に興味を持ち、高等教育を受けるための基礎学力を確実に身に付けた志願者を、出身学校長からの推薦に基づき、提出書類と小論文、面接により選抜します。
- ・対象となるのは、外国の教育制度に基づく教育機関（国内の国際バカロレア（DP）認定校を含む）において中等教育を受けた生徒です。
- ・提出書類には、英語の資格・検定試験の成績が含まれます。本学は、推薦される生徒に高度な英語力を備えていることを求めており、その力を資格・検定試験の成績により証明することを求めます。
- ・言語文化学部では、その場で与えられた課題について小論文を書きます。面接では、大学入学志望理由書、活動報告書をもとにした質疑を行います。これにより、本学での学びへの意欲、基礎学力、思考力・判断力・表現力を確認します。
- ・国際社会学部では、あらかじめ指定された課題図書について小論文を書きます。課題図書の著者の主張を踏まえ自分の考えを論理的に展開することができるかを確認します。面接では、小論文や大学入学志望理由書、活動報告書をもとにした質疑を通じ、中等教育における学習歴を確認するとともに、自身の考えを適切に表現するコミュニケーション力を確認します。
- ・国際日本学部では、その場で与えられた課題について小論文を書きます。面接では、大学入学志望理由書、活動報告書をもとにした質疑を行います。これにより、本学での学びへの意欲、基礎学力、思考力・判断力・表現力を確認します。

I. 趣旨

この「帰国生等特別推薦選抜」は、学校推薦型選抜の一種である。

「帰国生等特別推薦選抜」では、外国の教育制度に基づく教育機関（国内の国際バカロレア（DP）認定校を含む）において中等教育を受けた生徒を対象に、外国における教育事情の違い等に鑑み、英語の資格・検定試験のスコア等の出願書類、小論文、面接等により入学志願者の能力・適性等を多面的・総合的に評価し、合格者を決定する。

これは、社会のグローバル化に伴う多様な人の移動が作り出す近年の現実に対応し、豊かな国際感覚を持つ生徒の就学機会を広げるために実施するものであり、本学の特色・専門分野に興味を持ち、高等教育を受けるための基礎学力を確実に身に付けた志願者を、出身学校長からの推薦を受け、選抜するものである。

なお、本学を含め、国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う大学・学部を除く。以下同じ）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含む）へ出願できるのは、1つの大学・学部である。

II. 募集人員

1. 言語文化学部 言語文化学科

募集単位（専攻言語）	募集人員	入学後の専攻地域
英語	若 干 名	北西ヨーロッパ・北アメリカ
ドイツ語		中央ヨーロッパ
ポーランド語		
チェコ語		
フランス語		西南ヨーロッパ
イタリア語		
スペイン語		イベリア・ラテンアメリカ
ポルトガル語		
ロシア語		ロシア
ロシア語及びウズベク語		中央アジア
モンゴル語		
中国語		東アジア
朝鮮語		
インドネシア語		東南アジア
マレーシア語		
フィリピン語		
タイ語		
ラオス語		
ベトナム語		
カンボジア語		
ビルマ語		
ウルドゥー語		南アジア
ヒンディー語		
ベンガル語		
アラビア語		中東
ペルシア語		
トルコ語		

（注1）合格者（入学手続者）の数は、言語文化学部前期日程募集人員の内数である。

2. 国際社会学部 国際社会学科

募集単位（専攻地域）	募集人員	入学後の専攻言語
北西ヨーロッパ／北アメリカ	若干名	英語
中央ヨーロッパ		ドイツ語
		ポーランド語
		チェコ語
西南ヨーロッパ		フランス語
		イタリア語
イベリア／ラテンアメリカ		スペイン語
		ポルトガル語
ロシア		ロシア語
中央アジア		ロシア語及びウズベク語
		モンゴル語
東アジア		中国語
		朝鮮語
東南アジア第1		インドネシア語
		マレーシア語
		フィリピン語
東南アジア第2		タイ語
		ラオス語
		ベトナム語
		カンボジア語
	ビルマ語	
南アジア	ウルドゥー語	
	ヒンディー語	
	ベンガル語	
中東	アラビア語	
	ペルシア語	
	トルコ語	
アフリカ	英語	
オセアニア	英語	

（注1）「入学後の専攻言語」が複数ある「募集単位（専攻地域）」を希望する志願者は、出願時に希望する「入学後の専攻言語」を1つ選択すること。

（注2）合格者（入学手続者）の数は、国際社会学部前期日程募集人員の内数である。

（注3）「募集単位（専攻地域）」が「北西ヨーロッパ／北アメリカ」及び「イベリア／ラテンアメリカ」の合格者は、入学手続時にいずれか1つの専攻地域を選択すること。詳細は、入学手続書類にて確認すること。

3. 国際日本学部 国際日本学科

募集単位（学科）	募集人員
国際日本学科	若干名

（注1）合格者（入学手続者）の数は、国際日本学部前期日程募集人員の内数である。

Ⅲ. 推薦人数

出身学校長が推薦する人数は、特に制限しない。

IV. 出願資格等

下記のいずれかの基礎資格を有し、かつ、すべての要件を満たしている者。ただし、基礎資格の(1)(2)については、日本国籍を持つ者又は日本国の永住許可を得ている者に限る。(3)(4)については(注6)を参照のこと。(5)(6)については国籍を問わない。

1. 基礎資格

2025年(令和7年)4月1日から2026年(令和8年)3月31日までの間に、次のいずれかの基礎資格を満たす者。

- (1) 外国において学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)を修め、そのうち外国において日本以外の国の正規の教育制度に基づく高等学校に対応する課程の最終学年を含めて2学年以上継続して学校教育を受け、上記期間中に修了した者及び修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) 学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む)のうち、外国において日本以外の国の正規の教育制度に基づく中等教育に対応する課程で3学年以上継続して学校教育を受けた後、中途退学し、引き続き日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)に編入学を認められた者で上記期間中に卒業したもの及び卒業見込みのもの
- (3) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、(フランス)バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレアのいずれかを上記期間中に取得した者及び取得見込みの者
- (4) 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia(NCA CASI、NWAC、SACS CASI)、COBIS)の認定を受けた教育施設の12年の課程を上記期間中に修了した者及び修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を上記期間中に修了した者及び修了見込みの者
- (6) 本学において、個別の入学資格審査により、上記(1)～(5)と同等以上の学力があると認めた者で、2026年(令和8年)3月31日までに18歳に達するもの

(注1) 初等中等教育の課程が13年制である場合には、2025年(令和7年)4月1日から2026年(令和8年)3月31日までの間にGrade 12又はGrade 13を修了した場合に要件を満たすが、受験の機会はGrade 12修了時かGrade 13修了時のいずれか1回に限る。

(注2) (1)の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」とは、

- ① 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を上記期間中に修了したもの及び修了見込みのもの
- ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを上記期間中に修了した者及び修了見込みの者

(注3) (1)(2)(4)に該当する者は、大学入学資格として少なくとも12年の教育課程を基本とする国において、飛び級等により通算12年に満たないで修了した者及び修了見込みの者を含む。

(注4) (1)に該当する者は、外国において少なくとも高等学校の第2学年の初めから最終学年の終わりまでに該当する課程(Grade 11～Grade 12)のすべての期間において在学し、当該課程を修了した者とする。

(注5) (2)に該当する者は、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)に編入学後、卒業までの期間が1年以内のものとする。

(注6) (3)(4)について

- ・日本国内に所在する学校等で資格を取得する者又は学校等を修了する者(いずれも見込みの者を含む)については、国籍を問わず基礎資格を満たす。
- ・外国に所在する学校等で資格を取得する者又は学校等を修了する者(いずれも見込みの者を含む)については、日本国籍又は日本国の永住権を持つ者に限る。日本国籍又は日本国の永住権を持たない者は、「私費外国人留学生選抜」又は「日本留学試験利用選抜」を受験することができる。

(注7) (6)の対象となる者は、(1)～(5)のいずれにも該当しない者である。これにより出願する場合は、事前に個別の入学資格審査が必要となるので、次の要領にて申請すること。

1. 申請期限：2025年(令和7年)10月3日(金) 本学必着
2. 申請方法：日本国内から申請する場合は(簡易)書留郵便、日本国外から申請する場合はEMS・DHL等の、本学までの配達状況が追跡できるものを利用して申請すること。なお、封筒の表面に「入学資格認定申請書類在中」と朱書きすること。

3. 提出書類：

- ① 入学資格認定申請書（本学所定様式。本学ホームページからダウンロードすること）
(<https://www.tufs.ac.jp/common/is/nyushi/pdf/sinseisyo.pdf>)
- ② 高等学校に相当する課程等における学習歴を証明する書類（成績証明書でも可）、あるいは、社会での実務経験や取得した資格を有する者は、その実務経験や取得した資格を証明する書類（学習歴や実務歴が複数にわたる場合は、そのすべてについて提出すること）
- ③ レターパックライト（本学から入学資格審査結果の通知を送付する際に使用する）
 - ※ レターパックライトは、郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所で購入可能。
 - ※ 申請者の宛先（日本国内に限る）を「お届け先」欄に記入し、半分に折って同封すること。申請者が日本国外に在住している場合は、日本国内の代理人の宛先を記入し、空いている部分に志願者本人の氏名を括弧書きすること。
 - ※ 「ご依頼主様保管用シール」ははがさないこと。

4. 審査結果：入学資格審査結果については、上記③にて通知する。

2. 要件

次に掲げるすべての要件に該当すること。

- (1) 英語 4 技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W（注 1）のいずれかを受験し、出願時にそのスコアを提出できること。
（注 2）
- (2) 学業・人物ともに優れ、志望する分野における学修に強い意欲を有する者
- (3) 出身学校長が責任を持って推薦できる者
- (4) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

（注 1）英語 4 技能の資格・検定試験のスコアとして TOEIC L&R/TOEIC S&W を提出する場合、L&R 及び S&W の両方のスコアを提出すること。

（注 2）中学校・高等学校に相当する 6 学年（Grade 7～Grade 12）の教育課程のうち、5 学年以上を「英語」で教育を受けた者については、英語 4 技能の資格・検定試験のスコアの提出は不要とする。

3. その他

帰国生等特別推薦選抜において、同一の志願者が複数の学部を併願することはできない。また、本学の「学校推薦型選抜」、「私費外国人留学生選抜」及び「日本留学試験利用選抜」との併願はできない。

V. 出願期間

2025 年（令和 7 年）11 月 1 日（土）から 11 月 5 日（水）まで

上記期間内に**必着**とする。ただし、期間後に本学に到着した場合でも、2025 年（令和 7 年）11 月 3 日（月）以前の国内発信局消印のある（簡易）書留郵便であれば受け付ける。郵便事情を考慮し、十分余裕をもって発送すること。

VI. 出願手続

1. 出願方法

出願は郵送に限り、持参は認めない。出願書類は一括して封筒に入れ、日本国内からの場合は（簡易）書留郵便、日本国外からの場合は EMS・DHL 等の、本学までの配達状況が追跡できるものを利用して送付すること。また、封筒の表面に必要事項を記入した「出願書類送付状」を貼り付けること。

2. 出願書類

次の表のとおり準備すること。なお、★ が付いた書類は、本学ホームページ (<https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/guideline/returnee.html>) から書式をダウンロードし、A4 用紙 (210mm×297mm) に両面印刷したものを使用すること。また、記入の際は、13 頁「XIII. 出願書類記入上の注意」を熟読のうえ、正確に記入すること。

書類等	摘要
★ 入 学 志 願 票	本学所定の書式に必要事項を記入し、写真（縦 4 cm×横 3 cm、上半身・正面・無帽で出願日前 3 か月以内に撮影したもの）を貼り付けること。
★ 推 薦 書	本学所定の書式を用いて、原則として出身学校長が作成し、発行者において厳封したものを提出すること。学校長以外が作成する場合は、記載内容について学校長の承認を受けていること。
卒業（見込）証明書、 修了（見込）証明書 又は調査書	出身学校長が作成した高等学校（日本の高等学校に相当する課程）の卒業（見込）証明書、修了（見込）証明書又は厳封された調査書の 原本 を提出すること。 （注 1）「証明書が一通しか発行されない」等の理由でオリジナル（原本）を提出できない場合は、大使館等公的機関で原本証明されたものを提出すること。なお、本学入試課においても原本証明を行うことができる。本学入試課にて原本証明を希望する場合は、8 頁＜参考 本学入試課において原本証明を行う場合の手順等＞を参照のうえ、手続を行うこと。 （注 2）これらの証明書が英語以外の外国語で作成されたものである場合、その全文の和訳もしくは英訳を添付すること。
成績証明書又は調査書	各学年の成績が明記され、発行者において厳封された 原本 を提出すること。提出に際しては、上記「卒業（見込）証明書、修了（見込）証明書又は調査書」の（注 1）及び（注 2）の取扱いに準ずること。
★大学入学志望理由書 （学部別）	本学所定の書式に記入すること。学部によって書式が異なるため注意すること。
★ 活 動 報 告 書 （学部別）	【言語文化学部志願者】 言語文化学部所定の書式に記入すること。 なお、国際バカロレア資格（International Baccalaureate Diploma）を有する（見込みの）者は、活動報告書（必須）に加えて、任意で <u>EE（課題論文）を提出することができる。</u> 【国際社会学部志願者】 国際社会学部所定の書式に記入すること。 なお、国際バカロレア資格（International Baccalaureate Diploma）を有する（見込みの）者は、<u>活動報告書に代えて、EE（課題論文）を提出すること。</u>（EE を提出した者は、活動報告書の提出は不要） 【国際日本学部志願者】 国際日本学部所定の書式に記入すること。 なお、国際バカロレア資格（International Baccalaureate Diploma）を有する（見込みの）者は、活動報告書（必須）に加えて、任意で <u>EE（課題論文）を提出することができる。</u>

英語の資格・検定試験スコア	英語 4 技能の資格・検定試験である、ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定、GTEC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC L&R/TOEIC S&W のいずれか 1 つのスコアの原本を提出すること。 【スコアの提出方法について】 原則、試験実施機関から本学へ直送するよう手配すること。なお、送付には時間がかかるので注意すること。また、試験実施機関から本学に直送で言語検定試験証明書を提出する場合には、試験実施機関から本学への直送に期間を要することがあるため、言語検定試験証明書の写し又は試験実施機関のホームページからプリントアウトしたものを出願時に同封すること。 【送付先】 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 東京外国語大学入試課入学試験係 【補足事項】 ・中学校・高等学校に相当する 6 学年（Grade 7 ～Grade 12）の教育課程において、5 学年以上「英語」で教育を受けた者は、スコアの提出は不要。 ・IELTS の Test Report Form は、試験を受験した各テストセンターから本学へ直送手配すること。 ・TOEFL iBT の Official Score Report は、試験実施機関である ETS (Educational Testing Service) から本学へ直送手配すること。本学の ETS 登録コード (Designated Institution Code) は「3059」。なお、Department Code の指定はないため、任意のものを 1 つ選択すること。 ・TOEIC Tests の Official Score Certificate は、試験実施機関である（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会から本学へ直送手配すること。詳細は、下記の公式サイトから確認すること。なお、海外で TOEIC Tests を受験した場合は、当該国の試験実施機関に直接問い合わせること。 <TOEIC 公式サイト「公式認定証直送制度のご案内」> https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score.html ・直送が不可である場合は、スコアの原本を再発行し、厳封された状態のまま、他の出願書類と併せて提出すること。 ・上記の方法で提出することが困難な者は、事前に入試課まで相談すること。
国家試験等の統一試験成績評価証明書 （該当者のみ提出）	【国際バカロレア資格（International Baccalaureate Diploma）を有する者】 【IB Diploma 取得者】 最終試験 6 科目の Transcript of Results を提出すること。なお、IB Information System (IBIS) より本学が閲覧できるよう手配すること。 【IB Diploma 取得予定者】 出願期限までに Transcript of Results が発行されない場合は、出身学校長又は進路指導担当者等が作成した「IB Diploma 取得見込み及び最終試験 6 科目の成績を証明する書類（様式任意）」を出願時に提出すること。 本学に合格した場合、2026 年（令和 8 年）3 月 31 日（火）までに最終試験 6 科目の Transcript of Results を提出すること。 【その他の国家試験等の統一試験成績評価証明書を有する者】 国家試験等の統一試験のある国では、その統一試験を受験していることが望ましい。既に受験している場合は、成績評価証明書の原本を提出すること。 また、出願後に受験する場合は、証明書が得られ次第、本学入試課に送付すること。この場合は、受験予定であることが分かる書類（任意）を、他の出願書類と合わせて提出すること。 なお、提出に際しては、6 頁「卒業（見込）証明書、修了（見込）証明書又は調査書」の（注 1）及び（注 2）の取扱いに準ずること。
検 定 料 (17,000 円)	以下のいずれかの方法により支払うこと。なお、支払いは第 1 次選考及び第 2 次選考の都度行うこと。

	【支払方法】 ①〔クレジットカード〕 https://e-apply.jp/e/tufs-admission/ にアクセスし、「帰国生等特別推薦選抜」を選択し、必要な情報を入力すること。 ②〔コンビニエンスストア〕 巻末の説明を参照のうえ、支払手続を行うこと。 【各選考の検定料及び振込期限】 [第1次選考] 検 定 料：4,000 円 支払期限：2025 年（令和 7 年）11 月 5 日（水）16:00 [第2次選考] 検 定 料：13,000 円 支払期限：2025 年（令和 7 年）11 月 26 日（水）16:00 （注1）検定料の支払いの際に、別途手数料（出願者負担）が必要となる。 また、第1次選考検定料の支払の際に、本学から受験票を返送する際に使用するレターパックライトの代金430円（※）を上乗せして支払うこと。 （注2）第1次選考検定料の支払手続を①で行った場合は、e-apply の支払完了画面又は支払完了メールを A4 用紙に印刷したものを提出すること。 また、②で行った場合は、支払ったことが分かる証明書を入学者志願票の指定箇所に貼り付けること。 （注3）必ず志願者の氏名で支払うこと。 （注4）第1次選考合格者に対し、第2次選考検定料の支払案内を郵送する。
★ 受 験 票 ・ 写 真 票 ・ 出 願 書 類 送 付 状	本学所定の書式に必要事項を記入し、受験票・写真票それぞれに入学者志願票と同じ写真（縦4cm×横3cm、上半身・正面・無帽で出願日前3か月以内に撮影したもの）を貼り付けること。また、出願書類送付状は、切り離して封筒の表面に貼り付けること。
パスポート／在留カードの 写し等	国籍又は日本国の永住権を持っていることが確認できる書類の写しを提出すること。 （例）パスポート（顔写真の頁）、住民票（本籍地が記載されているもの）、在留カード
★ あ て 名 票	本学所定の書式（3枚すべて）に、本学からの通知を確実に受け取れる志願者の郵便番号・住所（日本国内に限る）・氏名及び電話番号を記入すること。 日本国外在住の志願者は、日本国内の代理人の宛先を記入し、空いている部分に志願者本人の氏名を括弧書きすること。
入学資格審査結果の通知 （写）（該当者のみ）	4頁の基礎資格(6)で出願しようとする者は、入学資格審査結果の通知の写しを同封すること。

<参考 本学入試課において原本証明を行う場合の手順等>

■手順について

1. 志願者が事前に本学入試課に相談のうえ、原本証明を希望する書類の原本を持参もしくは郵送する。郵送での手続の場合、返送用としてレターパックライトを同封すること。同封するレターパックライトのお届け先欄に、返送先（日本国内に限る）の住所を記入すること。
2. 本学入試課が原本証明を行い、①「原本」、②「原本証明された原本の写し」を志願者へ返却する。なお、②「原本証明された原本の写し」は厳封された状態で返却されるので、開封しないこと。
3. 志願者が出願の際に、②「原本証明された原本の写し」を厳封された状態で出願書類として提出する。

■受付期間について

2025 年（令和 7 年）9 月 1 日（月）～10 月 31 日（金）

※本学入試課に持参する場合は、上記期間中の平日 9：00～12：00、13：00～17：00 のみ受け付ける。

3. 留意事項

- (1) 出願資格について疑問のある場合は、出願書類提出前に本学入試課に相談すること。
- (2) 本学又は他の国公立大学・学部一般選抜に併願することは差し支えないが、国公立大学・学部の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部である。
- (3) 帰国生等特別推薦選抜において、同一の志願者が複数の学部を併願することはできない。また、本学の「学校推薦型選抜」、「私費外国人留学生選抜」及び「日本留学試験利用選抜」との併願はできない。
- (4) 出願後における志願先（学部・学科、専攻言語、専攻地域）の変更には一切応じない。
- (5) 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあるので、十分注意すること。
- (6) 提出書類の記載事項と事実が相違している場合には、入学を取り消すことがある。
- (7) 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返却しない。
- (8) 出願受付後は、いかなる理由があっても、既納の検定料は返還しない。

VII. 受験票

出願書類が不備なく受理された者に対し、「受験票」を2025年（令和7年）11月10日（月）までに発送する。もし2025年（令和7年）11月13日（木）までに届かないときは、11月14日（金）に本学入試課に電話で問い合わせること。

受験票は、入学者選抜及び入学手続の際に必要となるので、紛失しないように注意すること。

VIII. 選抜方法

第1次選考（書類選考）及び第2次選考（小論文及び面接）により、総合して評価する。

1. 第1次選考（書類選考）

成績証明書（調査書）、推薦書、大学入学志望理由書、活動報告書、国家試験等の統一試験成績評価証明書（該当者のみ）、英語4技能の資格・検定試験のスコア等の出願書類により行う。

2. 第2次選考（小論文及び面接）

第1次選考合格者に対し、小論文及び面接により行う。

(1) 実施期日・試験場

学部	実施期日	試験場
言語文化	2025年（令和7年）11月29日（土）	東京外国語大学 （東京都府中市朝日町3-11-1）
国際社会 国際日本	2025年（令和7年）11月30日（日）	

(2) 試験内容

①小論文

学部	実施方法	試験時間
言語文化	その場で与えられた課題について小論文を課す。	9:30～11:00 (90分)
国際社会	あらかじめ指定された課題図書に基づく小論文を課す。 課題図書：『ボタン穴から見た戦争ー白ロシアの子供たちの証言』 （岩波現代文庫、ISBN：9784006032968、スヴェトラナ・アレクシエー ヴィチ著、三浦みどり 訳、2016 年） （注１）受験者は課題図書をあらかじめ精読していること。なお、解答に 際しては自分が引用した箇所のページ明記が求められる場合もあるため、当該の課題図書を持参すること。（持参した本の中に傍線や 多少のメモ書きを記していても構わない） （注２）試験問題は日本語で出題される。解答も日本語で行うこと。	
国際日本	その場で与えられた課題について小論文を課す。	

②面接

学部	実施方法	試験時間
3学部共通	志望理由、高等学校等までの学習歴、入学後の学修計画、特筆すべき課外活動・社会活動等に関し、質疑応答を行う。	11:30～

(注1) 面接の時間は別途指定する。

Ⅸ. 合格者発表

1. 第1次選考合格者発表

2025年(令和7年)11月21日(金) 午前10時 本学ホームページ

第1次選考合格者には、発表当日、第2次選考に関する連絡事項を、出願時に提出された「あて名票」の住所宛に発送する。もし、2025年(令和7年)11月25日(火)までに通知が届かないときは、本学入試課まで電話で照会すること。

2. 第2次選考合格者発表

2025年(令和7年)12月17日(水) 午前10時 本学ホームページ

最終合格者には、発表当日、合格通知書及び入学手続き書類を、出願時に提出された「あて名票」の住所宛に発送する。なお、合否に関する電話等による照会には、一切応じない。

Ⅹ. 入学手続等

合格者は、所定の期日までに入学手続を行うこと。手続の詳細については、合格通知書郵送の際に通知する。

なお、入学手続の際、本学受験票が必要になるので、紛失しないよう注意すること。また、令和8年度大学入学共通テストに出願済みの者は、入学手続時に大学入学共通テストの受験票も提出すること。

1. 手続期日

2026年(令和8年)2月2日(月)まで

手続方法は、郵送のみとする。2月2日(月)16時までに本学必着のこと。

2. 納付金

入学料：282,000 円

英語外部試験受験経費：17,000 円

なお、授業料は前半期分 267,900 円を 5 月中に、後半期分 267,900 円を 10 月中に徴収する。

(注1) 入学時又は在学中に授業料・英語外部試験受験経費の改定が行われた場合は、新授業料・英語外部試験受験経費を適用する。

(注2) 支払われた入学料は、原則返金しない。

(注3) 入学時には、上記入学料等のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要になる。

3. 留意事項

- (1) 合格者で特別な事情がある場合に限り、2026 年（令和 8 年）1 月 30 日（金）までに合格者の推薦を行った学校長等から、本学宛入学辞退届（様式任意）が提出され、本学の学長が許可した場合に限り、その入学辞退を認める。入学辞退の許可を得ないまま、本学又は他の国公立大学・学部的一般選抜を受験しても、合格者とはならないので注意すること。
- (2) 合格者が 2026 年（令和 8 年）2 月 2 日（月）までに入学手続を完了しないときは、帰国生等特別推薦選抜の合格者としての権利は消失する。なお、(1) の場合を除き、入学手続を完了しない者が、本学又は他の国公立大学・学部的一般選抜を受験しても、合格者とはならないので注意すること。
- (3) 本学帰国生等特別推薦選抜に合格し、2026 年（令和 8 年）2 月 2 日（月）までに入学手続を行った者は、本学又は他の国公立大学・学部的一般選抜を受験しても、その合格者にはならない。
- (4) 合格通知書受領後に入学を辞退した場合は、翌年度以降、当該出身学校からの帰国生等特別推薦選抜の出願を受理しないことがある。

XI. 障害等のある志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上合理的な配慮を必要とする者は、事前に本学入試課に相談すること。

なお、相談の受付期日後に受験上及び修学上の特別な配慮が必要となった者は、電話等で相談すること。

- (1) 受付期日：2025 年（令和 7 年）10 月 10 日（金）まで
- (2) 相談方法：以下の所定様式に必要事項を記入し、同封書類⑧⑨とともに、（簡易）書留郵便により郵送又は直接窓口へ持参すること。なお、本学が必要と判断する場合は、本学において志願者又は関係者等と面談を行うことがある。

[所定様式] <https://www.tufs.ac.jp/common/is/nyushi/pdf/hairyo.docx>

[記載事項] ①志願者氏名、年齢、性別 ②連絡先（住所・電話番号・Email）

③出身学校、卒業又は修了（見込）年月 ④試験区分、志願学部、募集単位

⑤障害の種類、程度 ⑥受験上希望する措置 ⑦修学上希望する措置

[同封書類] ⑧添付書類（医師の診断書（原本）、障害者手帳等（写）等）

⑨レターパックライト（本学から審査結果を送付する際に使用する）

（注1）レターパックライトは、郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所で購入可能。

（注2）申請者の宛先（日本国内に限る）を「お届け先」欄に記入し、半分に折って同封すること。
日本国外在住の志願者は、日本国内の代理人の宛先を記入し、空いている部分に志願者本人の氏名を括弧書きすること。

（注3）「ご依頼主様保管用シール」ははがさないこと。

XII. 個人情報の利用について

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号、入学者選抜の成績等の個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京外国語大学個人情報保護規程」に基づいて、次のとおり取り扱う。

- (1) 出願時に提供された個人情報は、入学者選抜、合格者発表及び入学手続業務に利用する。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、個人が特定されない形で、今後の大学教育及び入学者選抜の改善のための検討資料として用いることがある。
- (3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、合否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付する。
- (4) 入学者の個人情報は、教務関係（学籍簿の作成、英語学習支援等）、学生支援関係、授業料徴収に関する業務に利用する。
- (5) 上記各種業務での個人情報の利用にあたって、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、一部の業務を外部の事業者（以下「受託業者」という）に委託することがある。その場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、本学が保有する志願者の個人情報の全部又は一部を提供することがある。

XIII. 出願書類記入上の注意

1. 記入事項はすべて黒色ボールペンで自署（推薦書を除く）し、文字は楷書で、数字は算用数字で正確に記入し、該当語句は○で囲むか、又は、□欄を■に塗りつぶすこと。
2. 鉛筆や消せるインクペンでの記入は無効とする。
3. 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。また、年月日は西暦で記入すること。
4. 誤って記入した場合は、誤記入箇所にも二重線を引いて訂正印を押印のうえ、余白部分に正しい情報を記入すること。
5. ※印の欄は記入しないこと。
6. 志願する学部によって、書式、指定条件及び字数が異なるので注意すること。

【入学志願票】

- ・日本国内の連絡先
日本国外在住者は、日本国内の代理人の郵便番号・住所・連絡先・氏名を記入すること。大学からの連絡、選考結果の通知、受験票の送付等はすべてこの連絡先に行うので、必ず記入すること。
- ・高校コード
日本国内の高等学校出身者は、高校コードを記入すること。なお、高校コードは、大学入学共通テスト受験案内と同じである。大学入試センターのホームページから閲覧することができるので、確認して記入すること。
- ・英語の資格・検定試験
スコアを提出する試験を○で囲み、スコア欄にそのスコアを記載すること。また、受験番号等がある場合（例：Appointment Number (TOEFL iBT)）は、「受験者 ID」欄にその番号を記載すること。
- ・活動報告書の成果物
活動報告書に成果物を添付した場合は「提出あり」を、添付していない場合は「提出なし」を○で囲むこと。
- ・学習教育歴
記入欄に書ききれない場合は、別紙（A4 サイズ、様式自由）に記入し、添付して提出すること。
- ・検定料振込証明書貼付欄
志願票からはがれないように、しっかりと糊付けすること。

【大学入学志望理由書】

- ・志願学部所定の書式に記載されている説明文をよく読み、指定された字数程度にまとめて記入すること。
- ・署名を忘れずにすること。

【活動報告書】

- ・志願学部所定の書式に記載されている説明文をよく読み、指定された字数程度にまとめて記入すること。
- ・成果物がある場合は、その成果がわかるような資料を添付すること。なお、これは字数制限外とする。
（注1）資料の大きさはA4（210mm×297mm）とする。
（注2）成果物が造形物や動画等の場合は、写真（静止画）に収め、A4用紙に印刷するなどして、内容がわかるようにすること。
（注3）成果物が日本語又は英語以外で作成されたものについては、翻訳を添付すること。（志願者本人が訳したもので差し支えない）
- ・署名を忘れずにすること。

【受験票・写真票】

- ・志願学部、専攻言語、専攻地域及び氏名を記入すること。
- ・試験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡を着用して撮影した写真を貼付すること。

【その他】

- ・本学所定の書式は、以下よりダウンロードすることができる。
<https://www.tufs.ac.jp/admission/exam/guideline/returnee.html>

2026年度 東京外国語大学 入学検定料支払方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育
↓
入学検定料等支払

LAWSON

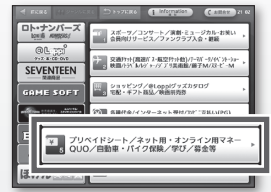
Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなたと、コンビニに、

FamilyMart

マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**保険／学び・教育**」よりお申込みください。



保険／学び・教育
↓
学び・教育
↓
大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi、マルチコピー機)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

② お支払い後チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。



(ファミリーマート)

② お支払い後レシート(受領書)をお受け取りください。



3 出願

お支払いが完了しましたら、入試要項などの指示に従って出願書類を郵送してください。

コンビニで受け取った「取扱明細書」「払込受領証」または「受領書(レシート)」等は出願が完了するまで大切に手元に控えておいてください。



●言語文化学部		●大学院	
第3年次編入学	2025. 8. 1 ~ 2025. 8. 21 16:00まで	博士前期課程・特別選抜(推薦入試)	2025. 5. 26 ~ 2025. 6. 12 16:00まで
学校推薦型選抜(第1次選考)	2025. 8. 1 ~ 2025. 11. 5 16:00まで	博士前期課程・秋季募集	2025. 8. 1 ~ 2025. 8. 28 16:00まで
帰国生等特別推薦選抜(第1次選考)	2025. 8. 1 ~ 2025. 11. 5 16:00まで	博士前期課程・冬季募集	2025. 11. 1 ~ 2025. 12. 11 16:00まで
私費外国人留学生選抜(第1次選考)	2025. 8. 1 ~ 2025. 10. 17 16:00まで	博士前期課程国際日本専攻・日本語教育リカレントコース	2025. 8. 1 ~ 2025. 8. 28 16:00まで
●国際社会学部		博士後期課程	2025. 8. 1 ~ 2025. 11. 13 16:00まで
第3年次編入学	2025. 8. 1 ~ 2025. 8. 21 16:00まで	●研究生・科目等履修生	
学校推薦型選抜(第1次選考)	2025. 8. 1 ~ 2025. 11. 5 16:00まで	学部 科目等履修生(10月入学)	2025. 7. 1 ~ 2025. 8. 6 16:00まで
帰国生等特別推薦選抜(第1次選考)	2025. 8. 1 ~ 2025. 11. 5 16:00まで	学部 科目等履修生(4月入学)	2026. 1. 1 ~ 2026. 2. 19 16:00まで
私費外国人留学生選抜(第1次選考)	2025. 8. 1 ~ 2025. 10. 17 16:00まで	学部 研究生(10月入学)	2025. 7. 1 ~ 2025. 8. 6 16:00まで
●国際日本学部		学部 研究生(4月入学)	2026. 1. 1 ~ 2026. 2. 19 16:00まで
学校推薦型選抜(第1次選考)	2025. 8. 1 ~ 2025. 11. 5 16:00まで	大学院 科目等履修生(4月入学)	2026. 1. 1 ~ 2026. 2. 19 16:00まで
帰国生等特別推薦選抜(第1次選考)	2025. 8. 1 ~ 2025. 11. 5 16:00まで	大学院 研究生(10月入学)	2025. 7. 1 ~ 2025. 8. 6 16:00まで
日本留学試験利用選抜(第1次選考)	2025. 8. 1 ~ 2025. 10. 17 16:00まで	大学院 研究生(4月入学)	2026. 1. 1 ~ 2026. 2. 19 16:00まで

*出願期間を入試要項でご確認の上、お支払いください。出願期限を過ぎたお支払いは出来ません。

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

問 い 合 わ せ 先

東京外国語大学学務部入試課入学試験係

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1 TEL 042-330-5179

受付時間（窓口・電話）

月曜日から金曜日 9:00～12:00, 13:00～17:00（祝日及び夏季休業期間を除く）

※問い合わせについては、原則として**志願者本人**が行うこと。